

# 令和元年度災害廃棄物処理セミナー (近畿ブロック)

日時：令和2年3月2日(月)  
13:30～17:30

場所：新大阪丸ビル別館 2-3号室

◇主催者あいさつ(13:30～13:35)

環境省近畿地方環境事務所 所長 河本 晃利

◎セミナーテーマ 「頻発する多様な災害による災害廃棄物処理の課題と人材育成」

◇講演1(13:35～15:15 ※質疑応答5分含む)(100分)

「近年の災害における廃棄物対策(台風19号に伴う福島県の災害廃棄物対応を交えて)」

環境省大臣官房 環境影響評価課環境影響審査室	審査官	切川 卓也 氏
京都府府民環境部循環型社会推進課 循環・リサイクル担当	技師	増田 清孝 氏
奈良県くらし創造部景観・環境局 環境政策課	主任主事	栗原 智也 氏
京都府京都市環境政策局循環型社会推進部 まち美化推進課	課長	宮本 博市 氏
大阪府堺市環境局環境事業部 環境事業管理課	主査	福田 智秋 氏

<講演概要>

昨年も台風19号など、東日本を中心に甚大な被害とともに、数十万トンもの大量の災害廃棄物が発生した。多くの自治体において仮置場の確保や片付けごみの収集方法など、混乱が生じた。近年の災害廃棄物対応を振り返り、自治体における平時の備えを考える。

～休憩～(10分)(15:15～15:25)

◇講演2(15:25～16:25 ※質疑応答5分含む)(60分)

「災害に強い廃棄物処理システムをつくる」

国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員 多島 良 氏

<講演概要>

災害に強い廃棄物処理システムの要素を概観したうえで、具体的な平時の対策として、人材育成研修やマネジメントの方法・ポイント・事例を紹介する。

◇講演3(16:25～17:25 ※質疑応答5分含む)(60分)

「住民に寄り添った災害廃棄物対応に向けて」

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴 氏

<講演概要>

毎年のように災害が起こり、災害廃棄物も注目を集めるようになった。しかし、毎回のように住民による勝手仮置き場の発生等も取り上げられる。

そこで、住民とのスムーズなコミュニケーションを図るための検討を行った。

また、災害時のみならず、平時にも事故が絶えないスプレー缶等についても、調査を始めており、その結果の一部を速報する。